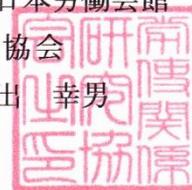


2014年7月 日

労使関係研究協会
会 員 各 位

一般財団法人 日本労働会館
労使関係研究協会
会 長 小出 幸男



第 12 回労働講座のご案内

日頃の当協会へのご理解と、ご協力に深く感謝申し上げます。

さて第12回労働講座は、「鉄鋼春闘の構築とその歴史的役割」について企画しました。1960年代後半からの春闘は、民間産業が中心となり中でも鉄鋼産業がパターンセッターの役割を果たすようになります。そして73年に鉄鋼労連は標労方式での要求に移行、75年には第1次オイルショックと狂乱物価を背景に実質賃金重視の「経済整合性」論が展開されました。春闘における「鉄鋼回答」の影響力の大きい時代、その後の鉄鋼産業の再編など、激動の時代に鉄鋼労連の賃金政策に携わってきた石塚氏の経験を語っていただきます。当時の回顧というだけでなく、これからの運動を担う方々へのメッセージにもなれば幸いです。

本講座は戦後労働運動のエポック的事象について、先輩諸氏の貴重な経験を語っていただきます。その講義内容を電子媒体に収録し、保存・活用していくことも目的としています。開催要領は以下の通りです。団体会員各位の積極的参加をお願い申し上げます。

記

1. と き 2014年9月12日（金）14：00～16：00
2. と ころ 友愛労働歴史館・研修室（友愛会館8階）
〒105-0014 東京都港区芝 2-20-12
3. テーマ 「鉄鋼春闘の構築とその歴史的役割」
4. 講 師 衆院議員高木義明事務所政策秘書 石塚 拓郎 氏（元基幹労連事務局次長）
5. 募集人員 40名程度
6. 参加費 無料
7. 申込締切 2014年9月5日（金）まで
※別添の返信用紙に、氏名・役職名もご記入ください。
8. 連絡先 〒105-0014 東京都港区芝 2-20-12 友愛会館8階
TEL03-3453-5386 Fax03-3451-1710
Eメール roshiken@rodokaikan.org
HP <http://roshiken.net/wp/>

以上

<講師略歴> 石塚 拓郎 (いしづか たくお)

1974年3月 埼玉大学経済学部卒業
1974年4月 鉄鋼労連企画調査部に入職
1992年9月 中央執行委員に選出される
2000年9月 書記次長に選出される
2003年9月 基幹労連結成にともない事務局次長に選出される
2008年8月 退職
2008年9月 参議院議員轟木利治事務所に政策担当秘書として入職
2013年8月 衆議院議員高木義明事務所に政策担当秘書として入職

以上

参加者申込用紙

労組・企業・団体名： _____

連絡担当者名： _____

	氏名	役職名
1		
2		
3		
4		
5		